

キーワード

① 被災地	② スマートコミュニティ	③
-------	--------------	---

川俣町は、平成 24 年 3 月に「川俣町復興計画」を発表、その中では原発事故による被害を受けた地域として、「脱原発」という考え方から再生可能エネルギーを効率的に活用することによりスマートコミュニティを実現し、住民がより安心して暮らし続けられるまちづくりを復興計画の重要な柱としている。特に計画的避難区域に指定された山木屋地区においては、現在避難している住民が戻り、住み慣れた地域で暮らせるよう、新たな産業の創出や雇用の確保につながる町づくりを目指している。

このことにより人口が分散する地方部において、本来地域が有する自然環境等を最大限に有効活用しながら、環境と共生し、経済的な活力が両立する再生可能エネルギーを導入した「過疎型スマートコミュニティ」実現のための手法を探ることを目的とした本事業の F S 検討を、「平成 24 年度スマートコミュニティ構想普及支援事業」の補助により実施した。

この助成制度を活用し川俣町が置かれている現状を踏まえた上で、実際に再生可能エネルギーを導入する際の可能性、必要なエネルギーネットワーク、それらを基盤としたこれからの川俣町の復興及び発展の基盤となる施設の整備やそこでの農業を中心とした産業復興・安心して暮らせる生活、それらを実現するための方策を検討した。